

# 下関市立大学広報



海峡の英知。未来へそして世界へ。

公立大学法人

## 下関市立大学

Shimonoseki City University

2016年3月1日 第78号

発行：下関市立大学広報委員会

〒751-8510 下関市大学町2-1-1

TEL. 083-252-0288

FAX. 083-252-8099

<http://www.shimonoseki-cu.ac.jp/>

## 学長退任挨拶

### 農山漁村に取り憑かれたこの10年～退任にあたって

学長 吉津 直樹

私はもともと農山漁村が好きなのでよく出かけますが、一人で行くのもつまらないので学生諸君と一緒にいきます。近年頻繁に行くところは、下関市菊川町轡井(くつわい)地区と長門市俵山地区です。今年度は轡井地区にタケノコ掘り、田植え、稲刈り、芋ほり、餅つきなどに行きました。また俵山地区にはしゃくなげの花見、田植え、しゃくなげの花柄摘みに行きました。これらの作業を地区の方々や長門市、下関市、宇部市などから参加される都市の方々と一緒に行った後、昼食をとります。作業をしながらの雑談や食事をとりながらの雑談が楽しみです。芋を掘ったり、田植えをしたり、しゃくなげの花見をしたり、餅つきが何になるのかと思われるかもしれませんが、このような遊びを通しての人々との接触が非常に大事なのです。地域の人々と接触を繰り返しているとのおずからお互いの信頼関係が築かれます。すると我々もこの地域をどうしたらよいかと真剣に考えるようになります。そして、地域の人も本気で語ってくれるようになります。

最近、菊川町の轡井と歌野の清流庵に餅つきに行きました。我々が小さい頃は、年末に家で餅をつくのが恒例でした。しかし、今では餅つき機を使ったりすることが多くなっています。そのため、かつては当たり前であった杵と臼を使つての餅つきが興味深い行為となっています。芋掘りでも田植えでも稲刈りでも同様です。農家の人にとってはなんでもないことが都市住民にとっては新鮮な行為となっています。

学生諸君とともに歩いていて気づくことは、最近の学生諸君は農山漁村の生活や実態に極めて疎いということです。畑に植えられている



野菜、例えば、大根とか人参とかじゃがいも、さつまいもとかの葉っぱを見てそれが何かを知らない人が大部分です。果物の木や果実を見てもそうです。最後のものは知っていてもその途中の段階

のものは現場を見ていないのでわからないのでしょう。知らなくても生活に困ることはないでしょうが、知っていればもっとおいしく食べることが出来ます。要するに、社会が都市化し、自然に触れる機会が少なくなっています。私は人々が自然から離れていくのは好ましいことではないと思っています。

学生諸君にとって農山漁村の現場で様々なことを体験することは非常に勉強になります。私にとっても勉強になりますが、私の場合、勉強が目的ではなく、農村が好きだから出かけるのです。我々の世代の習性でしょうか、自然のものを収穫し、それを新鮮なうちに料理して食べることに無上の喜びを感じます。

私はこの数年、4月には必ず俵山に蕨を採りに行きます。俵山には非常に質のいい蕨が生える所があります。そこに毎年取りに行くのですが、時期になると地元の人が「先生、そろそろ蕨が出ているよ」と親切に連絡してくれます。一度行けば数時間、集中的に採ります。一抱えもあるぐらい大量にとります。私が採った後は「荒野になる」と



冗談で言われますが、心配ありません。蕨は一度とってもすぐに伸びてきます。

俵山は水はきれいだし、寒暖の差もあってコメはおいしいし、山菜もたくさんあるし、温泉もあるし、面白い知り合いもたくさんいます。住民の方から、「退職したら俵山に住まんかね」とよく言われます。菊川町轡井でも言われます。気兼ねなく話ができる友人がいる田舎を持って幸せです。

教員には定年がありますが、研究には定年がありません。これからやり残した研究を思う存分やっつけていきたいと思います。

これからの下関市立大学には、小規模大学の良さを思う存分発揮して、良い学生を世に輩出していただきたいと願っています。

## キャリア支援

### キャリアデザインを受講して

経済学科1年 永井 風多  
(広島県立尾道北高等学校出身)

この講義を受講して、働くことの意義や責任について非常にたくさんのお話を学びました。企業でご活躍されている本学の卒業生の方から直接お話を伺い、働いている方の生の声を聞き、その中で疑問に思った事柄については質問をして対話することができました。企業で働くことや、様々な業種についての知識を得ることができ、また自分の将来についてははっきりとイメージがわいていなかった私にとって大変貴重な機会になりました。また、そのような話を聞く講義だけではなく、自分たちで意見を交わして働くことについて考えを深め合うグループワークも充実しており、学生自らが主体となって将来について考えることのできる非常に有意義な講義になりました。この講義を通じて、自分から行動することの大切さにも改めて気づくことができ、それが将来に繋がるということもとてもよくわかりました。1年生のうちからとても貴重な経験をすることができて、本当に良かったと思っています。



グループワークの様子

### 学内合同業界研究会に参加して

経済学科3年 行徳 直道  
(広島県立廿日市高等学校出身)

12月3日から5日間、学内で行われた合同業界研究会に参加しました。今まで知らなかった業界や企業に出会い、また、普段お会いすることのない社会人の方とお話させていただく機会是非常に学ぶことが多く、これからの就職活動への大きな刺激となりました。

この合同業界研究会に参加しての一番大きな収穫は、我々消費者が取引相手ではなく、企業を相手に取引を行う「BtoB企業」と呼ばれる会社があるということを知ったことです。例えば、製菓会社がお菓子を作る際に、そのお菓子を作るための機械を造っている機械メーカーなどです。一般の消費者が相手ではないので、テレビなどでCMを流す必要はなく、私たちが普段絶対に目にしないような会社です。そのような会社は世界に誇れる素晴らしい技術を持っていて、実は業界でトップシェアを誇っているという企業もたくさんあります。

このように、自分の知らない業界や企業に出会える機会になったので、これからの就職活動へのきっかけにして、今後、働きたいと思える業界・企業をたくさん探していきたいと考えています。



### 第1回市大キャリアスタディに参加して

公共マネジメント学科3年 芦塚 京香  
(長崎県立長崎東高等学校出身)

私は社会人の方々とお話をする機会を増やしたいと思い、市大キャリアスタディに参加しました。このイベントでは多くのOB・OGの方々と交流することができ、有意義な時間を過ごすことができました。

先輩方には就職活動に関する学生からの様々な質問や悩みに丁寧に答えていただいただけではなく、仕事の経験談なども話してくださいました。私が志望している業界の先輩はいらっしゃいませんでしたが、様々な業界・職業について学ぶことができました。また、自分の興味がある業界以外について知ることの重要性、業界研究において実際に働いている人の話を直接聞くことの大切さを改めて感じました。何より印象的だったのは、自らの仕事の話をする先輩方の姿です。その姿は自信に溢れていて、本当にその仕事にやりがいを感じていらっしゃる事が伝わってきました。先輩方のように、自分の仕事に自信を持てる社会人になりたいと思いました。

今回学んだことを就職活動へ活かし、このようなイベントには積極的に参加していこうと思いました。



### 就活直前合宿・第2回市大キャリアスタディに参加して

国際商学科3年 中山 美優  
(長崎県立長崎南高等学校出身)

今回合宿に参加し、参加する前に感じていた漠然とした不安を払拭することができました。これからどうしていけばよいのかが明確になり、就活に対するモチベーションを高めることができました。

模擬面接では、緊張すると自分が何を言っているのかわからなくなってしまうことや、面接する立場からは、あいさつの声の大きさ、目線、表情が自分が思っていた以上に印象に残るということが分かりました。

グループディスカッションでは、自分のアピールの仕方がいろいろあることが分かり、実際に試してみましたが、緊張から上手いかず、難しさを痛感しました。

また、第2回市大キャリアスタディでは、OB・OGの方にいろいろ質問することができたので良かったです。先輩方の就活について聞くと、自信が今まで準備をしっかり行っていたと感じました。それに対して、私はまだ全然できていないと反省し、焦りました。志望している金融業界についても知らないことを聞くことができたのでとてもためになりました。

まだまだ自分の不甲斐なさを感じ、不安もあります。しかし、今回参加することで得られたことがとても多かったので、学んだことをそのままにせず自分のものにして、自信につなげられるよう努力していきたいと思っています。





# 就職状況

## 平成27年度の就職状況について

教授 村田 和博  
(キャリア委員長)



今年度の4年生の就職活動を振り返れば、選考開始が8月に変更された影響を指摘せざるを得ません。就職活動の解禁日や選考開始日に対する企業の対応が必ずしも統一ではなく、企業側にも学生側にも就職・採用活動に対する混乱が見られたように思えます。そのような状況の中でも、本学の多くの学生は就職活動に対して真摯に取り組むことができました。平成27年12月時点での4年生全体の就職内定率は88.4%であり、昨年度の同時期に比べ1.7%上回っています。

4年生の就職活動と並行して、3年生の就職活動も始まりました。12月上旬に学内合同業界研究会を本学で5日間にわたって開催し、100社を超える企業にご来学いただきました。3年生にとって就職活動を始める契機となり、これを機に3年生の就職活動に対する意識が高まることを期待しています。

## 平成27年度就職状況(内定企業一覧)

金融・保険	広島信用金庫	商社・小売	製造	サービス・その他	建設・不動産	運輸・郵便	公務
日本銀行	福岡ひびき信用金庫	因幡電機産業(株)	林業産業(株)	吉村アクティブ産業(株)	大林道路(株)	郵政	運輸局(四国・中国)
㈱商工組合中央金庫	水島信用金庫	㈱ガリバーインターナショナル	六甲/パター(株)	エスアールジータカミヤ(株)	三機工業(株)	国税局(名古屋)	地方整備局(四国)
㈱日本政策金融公庫	米子信用金庫	小林産業(株)	㈱ダイショー	東京経済協同組合	大東建託(株)	労働局(香川)	海上保安庁
㈱ゆうちょ銀行	奄美信用組合	小笠原(株)	㈱ダイエー	日本年金機構	東建コーポレーション(株)	自衛隊(航空・海上・陸上)	県庁(香川・鹿児島・長崎)
九州労働金庫	電美信用組合	JKホールディングス(株)	㈱トヨタ	日本カナルミツク(株)	パナホーム(株)	興行(香川・鹿児島・長崎)	警察(香川・岡山・香川)
四国労働金庫	大分県信用組合	トラスコ中山(株)	㈱トヨタ自動車	日本カナルミツク(株)	㈱アーネストワン	市役所(四国・中央・下関)	消防(東京消防庁・広島市)
中国労働金庫	笠岡信用組合	三菱エレクトロ(株)	㈱トヨタ自動車	㈱アール・エルカバヤ(株)	バナホーム(株)		
新潟県労働金庫	兵庫県信用組合	㈱カワニシホールディングス	㈱トヨタ自動車	エルクホームズ(株)	㈱アーネストワン		
㈱りそなホールディングス	広島市信用組合	㈱Misumi	㈱トヨタ自動車	ANAエアポートサービス(株)	㈱アール・エルカバヤ(株)		
㈱伊予銀行	SMBCフレンド証券(株)	ヤマエ工務(株)	㈱トヨタ自動車	ANA福岡空港(株)	㈱アール・エルカバヤ(株)		
㈱大分銀行	大和証券(株)	アブライド(株)	㈱トヨタ自動車	ANA福岡空港(株)	㈱アール・エルカバヤ(株)		
㈱鹿児島銀行	東洋証券(株)	アイ・エイチ・ジェイ(株)	㈱トヨタ自動車	ANA福岡空港(株)	㈱アール・エルカバヤ(株)		
㈱佐賀銀行	東海東京証券(株)	アイティーアイ(株)	㈱トヨタ自動車	ANA福岡空港(株)	㈱アール・エルカバヤ(株)		
㈱山陰合同銀行	東洋証券(株)	㈱アルト	㈱トヨタ自動車	ANA福岡空港(株)	㈱アール・エルカバヤ(株)		
㈱ナニワ銀行	三井FJFエルガスタンレー証券	㈱網中	㈱トヨタ自動車	ANA福岡空港(株)	㈱アール・エルカバヤ(株)		
㈱親和銀行	三井FJFエルガスタンレー証券	石黒メディカルシステム(株)	㈱トヨタ自動車	ANA福岡空港(株)	㈱アール・エルカバヤ(株)		
㈱第四銀行	KOYO証券(株)	伊藤忠エクス	㈱トヨタ自動車	ANA福岡空港(株)	㈱アール・エルカバヤ(株)		
㈱但馬銀行	ふくおか証券(株)	ホームライフ西日本(株)	㈱トヨタ自動車	ANA福岡空港(株)	㈱アール・エルカバヤ(株)		
㈱中国銀行	二浪証券(株)	伊藤忠丸紅テクノスチール(株)	㈱トヨタ自動車	ANA福岡空港(株)	㈱アール・エルカバヤ(株)		
㈱鳥取銀行	第一商品(株)	イワタニ(株)	㈱トヨタ自動車	ANA福岡空港(株)	㈱アール・エルカバヤ(株)		
㈱西日本シティ銀行	岡山県信用保証協会	内村酸素(株)	㈱トヨタ自動車	ANA福岡空港(株)	㈱アール・エルカバヤ(株)		
㈱肥後銀行	新潟県信用保証協会	江藤酸素(株)	㈱トヨタ自動車	ANA福岡空港(株)	㈱アール・エルカバヤ(株)		
㈱広島銀行	フォーシーズ(株)	㈱カナックス	㈱トヨタ自動車	ANA福岡空港(株)	㈱アール・エルカバヤ(株)		
㈱福岡銀行	アコム(株)	北九州青果(株)	㈱トヨタ自動車	ANA福岡空港(株)	㈱アール・エルカバヤ(株)		
㈱北陸銀行	㈱オリエントコーポレーション	共和医器(株)	㈱トヨタ自動車	ANA福岡空港(株)	㈱アール・エルカバヤ(株)		
㈱北陸銀行	㈱ジャックス	㈱弘法	㈱トヨタ自動車	ANA福岡空港(株)	㈱アール・エルカバヤ(株)		
㈱山形銀行	㈱山形カード	興隆電機(株)	㈱トヨタ自動車	ANA福岡空港(株)	㈱アール・エルカバヤ(株)		
㈱愛媛銀行	山陰信販(株)	国分フードクリエイティブ(株)	㈱トヨタ自動車	ANA福岡空港(株)	㈱アール・エルカバヤ(株)		
㈱香川銀行	全日信販(株)	㈱コニシタ	㈱トヨタ自動車	ANA福岡空港(株)	㈱アール・エルカバヤ(株)		
㈱東京銀行	㈱セディナ	㈱コニシタ	㈱トヨタ自動車	ANA福岡空港(株)	㈱アール・エルカバヤ(株)		
㈱島根銀行	㈱日専連ベネフル	三鋼販西日本(株)	㈱トヨタ自動車	ANA福岡空港(株)	㈱アール・エルカバヤ(株)		
㈱大光銀行	楽天カード(株)	㈱新日配薬品	㈱トヨタ自動車	ANA福岡空港(株)	㈱アール・エルカバヤ(株)		
㈱トマト銀行	あひのこ証券(株)和歌山県信用保証協会	㈱未松九機(株)	㈱トヨタ自動車	ANA福岡空港(株)	㈱アール・エルカバヤ(株)		
㈱長崎銀行	㈱アトラスクレジット	㈱瀬名名古屋(株)	㈱トヨタ自動車	ANA福岡空港(株)	㈱アール・エルカバヤ(株)		
㈱福岡中央銀行	AIGグループ	㈱テクノシステム	㈱トヨタ自動車	ANA福岡空港(株)	㈱アール・エルカバヤ(株)		
㈱南日本銀行	住友生命保険相互会社	東レインターナショナル(株)	㈱トヨタ自動車	ANA福岡空港(株)	㈱アール・エルカバヤ(株)		
㈱宮崎太陽銀行	全国共済農業協同組合連合会	㈱九州カボタ	㈱トヨタ自動車	ANA福岡空港(株)	㈱アール・エルカバヤ(株)		
奄美大島信用金庫	奄美大島本部	㈱西原商会	㈱トヨタ自動車	ANA福岡空港(株)	㈱アール・エルカバヤ(株)		
伊万里信用金庫	全国労働者共済	㈱日本アクセス	㈱トヨタ自動車	ANA福岡空港(株)	㈱アール・エルカバヤ(株)		
大分信用金庫	生活協同組合連合会	パナソニックコンシューマーマーケティング(株)	㈱トヨタ自動車	ANA福岡空港(株)	㈱アール・エルカバヤ(株)		
おかやま信用金庫	損害保険ジャパン(株)日本興亜	㈱原商	㈱トヨタ自動車	ANA福岡空港(株)	㈱アール・エルカバヤ(株)		
遠賀信用金庫	損害保険ジャパン(株)日本興亜	日立コンシューマーマーケティング(株)	㈱トヨタ自動車	ANA福岡空港(株)	㈱アール・エルカバヤ(株)		
鹿児島信用金庫	第一生命保険(株)	㈱ニエ貿易(株)	㈱トヨタ自動車	ANA福岡空港(株)	㈱アール・エルカバヤ(株)		
鹿児島相互信用金庫	東京海上日動火災保険(株)	㈱日本アクセス	㈱トヨタ自動車	ANA福岡空港(株)	㈱アール・エルカバヤ(株)		
観音寺信用金庫	日本生命保険相互会社	㈱ニエ貿易(株)	㈱トヨタ自動車	ANA福岡空港(株)	㈱アール・エルカバヤ(株)		
きのくに信用金庫	㈱ニエ貿易(株)	㈱ニエ貿易(株)	㈱トヨタ自動車	ANA福岡空港(株)	㈱アール・エルカバヤ(株)		
九州ひびき信用金庫	㈱ニエ貿易(株)	㈱ニエ貿易(株)	㈱トヨタ自動車	ANA福岡空港(株)	㈱アール・エルカバヤ(株)		
京都信用金庫	㈱ニエ貿易(株)	㈱ニエ貿易(株)	㈱トヨタ自動車	ANA福岡空港(株)	㈱アール・エルカバヤ(株)		
熊本第一信用金庫	㈱ニエ貿易(株)	㈱ニエ貿易(株)	㈱トヨタ自動車	ANA福岡空港(株)	㈱アール・エルカバヤ(株)		
呉信用金庫	㈱ニエ貿易(株)	㈱ニエ貿易(株)	㈱トヨタ自動車	ANA福岡空港(株)	㈱アール・エルカバヤ(株)		
しまなみ信用金庫	㈱ニエ貿易(株)	㈱ニエ貿易(株)	㈱トヨタ自動車	ANA福岡空港(株)	㈱アール・エルカバヤ(株)		
高松信用金庫	㈱ニエ貿易(株)	㈱ニエ貿易(株)	㈱トヨタ自動車	ANA福岡空港(株)	㈱アール・エルカバヤ(株)		
たちばな信用金庫	㈱ニエ貿易(株)	㈱ニエ貿易(株)	㈱トヨタ自動車	ANA福岡空港(株)	㈱アール・エルカバヤ(株)		
玉島信用金庫	㈱ニエ貿易(株)	㈱ニエ貿易(株)	㈱トヨタ自動車	ANA福岡空港(株)	㈱アール・エルカバヤ(株)		
但馬信用金庫	㈱ニエ貿易(株)	㈱ニエ貿易(株)	㈱トヨタ自動車	ANA福岡空港(株)	㈱アール・エルカバヤ(株)		
津山信用金庫	㈱ニエ貿易(株)	㈱ニエ貿易(株)	㈱トヨタ自動車	ANA福岡空港(株)	㈱アール・エルカバヤ(株)		
西中国信用金庫	㈱ニエ貿易(株)	㈱ニエ貿易(株)	㈱トヨタ自動車	ANA福岡空港(株)	㈱アール・エルカバヤ(株)		
西兵庫信用金庫	㈱ニエ貿易(株)	㈱ニエ貿易(株)	㈱トヨタ自動車	ANA福岡空港(株)	㈱アール・エルカバヤ(株)		
日本海信用金庫	㈱ニエ貿易(株)	㈱ニエ貿易(株)	㈱トヨタ自動車	ANA福岡空港(株)	㈱アール・エルカバヤ(株)		
萩山口信用金庫	㈱ニエ貿易(株)	㈱ニエ貿易(株)	㈱トヨタ自動車	ANA福岡空港(株)	㈱アール・エルカバヤ(株)		
播州信用金庫	㈱ニエ貿易(株)	㈱ニエ貿易(株)	㈱トヨタ自動車	ANA福岡空港(株)	㈱アール・エルカバヤ(株)		
東山口信用金庫	㈱ニエ貿易(株)	㈱ニエ貿易(株)	㈱トヨタ自動車	ANA福岡空港(株)	㈱アール・エルカバヤ(株)		

## 国際交流

## 留学体験

## クイーンズランド大学への派遣留学を終えて

国際商学科3年 池田 紗奈  
(兵庫県立三木高等学校出身)

多国籍文化圏での生活とそこでの大学学問がどういうものなのかという興味から、クイーンズランド大学での派遣留学を志望しました。日本とは違い、大学内だけでなく生活圏のどこにいても多種多様な文化がオーストラリアには存在します。その環境に身を投じ、日々いろいろな人と関わることのできた生活は、毎日が発見の連続、そして自分を見つめ直す絶好の機会となりました。大学内、地域活動、そして道端で出会った人まで、思いもよらない出会いが多くあり、今回の留学で得た収穫のひとつだと断言できます。また、生活の中心にあった大学での勉強は決して易しいものではありませんでしたが、授業内容から他学生との意見交換も含め、とても面白く、自身にとっての刺激でもありました。そして、得られた結果は自分の自信につながるものになりました。この留学を支えてくださった全ての方に感謝して、この1年の経験を活かして今後も向上心をもって努力していきたいと思えます。



## 韓国・木浦大学校で過ごした1年間

国際商学科2年 滝本 佳奈  
(広島県立広島観音高等学校出身)

私は高校生の頃から留学したいと考えており、大学に入学してまだ間もない5月の段階で派遣留学に応募しました。元々韓国に興味はあったものの、朝鮮語は初心者だったため不安も大きかったのですが、今しかできないことをしっかり経験したいという強い思いがあったので、期待に胸を膨らませ、1年生の3月から留学に臨みました。留学当初はやはり言葉の壁にぶつかり、慣れない環境の中で苦勞することもありましたが、毎日学科の授業を受け、語学堂で朝鮮語の基礎を学ぶことで次第に会話がスムーズにできるようになりました。また、木浦で出会った友人たちがホームパーティーを開いてくれたり、光州に連れて行ってくれたり色々企画してくれたおかげで、私の留学生活は毎日が充実したものとなりました。木浦での10ヵ月間は本当にあっという間でしたが、そこで起きたすべての出来事が貴重な経験であり、良い思い出です。この経験をいつまでも忘れずに、今後の生活に活かしていきたいと思えます。



## スピーチコンテスト

## 第3回日本語スピーチコンテスト

科目等履修生 ペミカ カンチャノータイ  
(タイ・タイ商工会議所大学)

私は日本語スピーチコンテストに参加した初めてのタイ人だそうです。テーマは『私が好きな日本の文化』でした。日本人が気づいていない良い文化について伝えかかったので、「語めない文化」について話しました。参加者は18人の留学生です。他の参加者から日本の文化に関する自分の経験や日本に来て気づいたことを聞き、面白くて感動したので、自分が優勝できるなんて思わなかったです。コンテストが終わってから、私のスピーチを聞いて感動したと言ってくれた日本の方々に挨拶していただいたり、褒めていただいたりして嬉しかったです。私は帰国してもこの感動と感謝を一生忘れません。



## 第7回中国語スピーチコンテスト

第7代中国語しゃべっチャイナリーダー 経済学科2年 馮 赫  
(中国・山西省出身)

11月19日(木)、下関市立大学第7回中国語スピーチコンテストを開催し、39名の方が出場して日ごろの学習成果を披露しました。今回の参加人数はこれまでの中国語スピーチコンテストの中で最も多かったとのことでした。皆さんの中国語レベルも高かったと思います。

我々しゃべっチャイナのメンバーたちは、このスピーチコンテストに協力したことで、もっと母国の文化を日本の皆さんに伝えたいという気持ちが強まりました。今後も、このような行事に参加し、中国に関する学習と交流のチャンスを皆さんに提供していきたいと思えます。そして、相互に異文化理解を深めたいと考えています。

## 第11回コリアンスピーチコンテスト

国際商学科3年 村田 香奈  
(立修館高等専修学校出身)

12月16日(水)に開催した第11回コリアンスピーチコンテストには、多くの方にご参加いただきました。今年は日本人のみならず中国人の参加者も多く、朝鮮語が日中韓の交流の架け橋になっているように感じました。また今年は出場者の枠を狭め、より厳密な審査の元で実施した本大会ですが、入賞された方の多くが大学1年生、弁論の部では最優秀賞を高校生が受賞するなど、若年層の活躍がありました。本学の朝鮮語履修者も多く、韓国への関心の高さが窺えるとともに、来年度は更にレベルの高い大会になるのではないかと期待が持てる大会でした。





## 下関市立大学 News &amp; Topics

## 地域に必要な個のを地域と共に育てる

教授 難波 利光  
(地域共創センター長)

地域共創センターでは、11月8日(日)に、地方創生を掲げる日本政府の在り方に合わせ、地域創生と銘打ってテーマ講座を開催しました。公立大学としても、学の英知を地域に還元することが重要であると考えています。今回のテーマ講座では、地方創生における地域経済や地域雇用の理論的なお話を始め、自治体間連携による実践や商店街活性化の成功事例、音楽やゲストハウスを活用した地域活性化の手法についても幅広い視点をもたれたパネリストからアイデアを聞くことができました。地域に必要なのは、個人の力であると感じました。共同体としての地域の必要性はもとより、個人の力が集まれば、地域が作られる可能性が広がると思われます。

学生が、地域の一人として個の力をつけていけるように、座学と地域活動を通して人材育成ができればと思っています。



## 第8回鯨資料室シンポジウムについて

講師 松本 貴文  
(地域共創センター・アーカイブ部門長)

10月31日(土)、下関市立大学本館II棟5階大会議室において、第8回鯨資料室シンポジウム「マルハ創業家・中部幾次郎と戦前の南水洋捕鯨を辿る～中部家資料を中心に～」が開催されました。

第1部では、片山俊夫氏(明石市立魚住東中学校教諭)と岸本充弘氏(下関市立大学附属地域共創センター委嘱研究員)からご報告があり、幾次郎が南水洋捕鯨に至るまでにたどった足跡や、中部家寄贈資料から見えてくる南水洋捕鯨の様子などが紹介されました。

第2部では、報告者のお二人に加えて佐藤嘉孝氏(山口県立宇部高等学校教諭・元山口県立博物館学芸員)をお迎えして、パネルディスカッションを行い、報告内容をさらに深く掘り下げました。多くの方にご参加いただき、充実したシンポジウムでした。



## 「留学生送別会」を終えて

国際交流会ともだち部長 国際商学科2年 住野 千依  
(山口県立田部高等学校出身)

1月22日(金)に、国際交流会ともだち主催の留学生送別会を開催しました。下関市立大学で一緒に学んできた仲間として、修学を終えた留学生に感謝の気持ちを込め開催したイベントです。当日は、多くの留学生と留学生チューター、地域の方々や教職員の方々に来てくださいました。また、会の最後には、下関市立大学のサークル「震」の方々にもよさこい演舞を披露してもらいました。多くの方に「楽しかった」と言っていたので、留学生送別会を開催して本当によかったと思っています。

留学生送別会は私が部長に就任して初めてのサークル活動でした。今回の経験を活かし、春に開催する留学生歓迎会も皆さんに楽しんでいただけるような会にしたいと思います。



## テコンドー示範団(東義大学校)が演武を披露

11月24日(火)に本学の協定校である東義大学校(韓国・釜山広域市)のテコンドー示範団の学生と教員のみなさんが来学され、キャンパスプラザで韓国の国技であるテコンドーを軽快な音楽にのせて披露して下さいました。跳ぶ、蹴る、拳で突く、そして数枚重ねた板を砕くというスピード感があふれた演武に、集まった本学の学生や教職員から大きな拍手と声援が送られました。また、一緒に来学したスマイル釜山の方々による韓服披露もあり、華やかな装いとその美しさに本学の学生や教職員が魅了されました。

最後に本学の少林寺拳法部と空手道部の学生達による形の披露も行われました。相互に武術を披露し合い、韓国の国技と日本の武道による学生間の交流を行うことができました。今後も、このような親睦の機会を多く設けることで、交流を一層深めて行きたいと思っています。



## 私のゼミ

連載企画

## 歴史学の視点を活用した多様な研究

経済学科3年 田中 達朗  
(広島県立尾道北高等学校出身)

橘ゼミでは、歴史学的視点から、ゼミ生それぞれが関心のあるテーマを研究しています。毎週、ゼミ生のテーマに関する新書や論文を読み、その文献の選択理由、概要、優れた点や疑問点、自らの考えなどをまとめたレジュメを作成して、ゼミ全体で議論します。

例えば、私は教職課程を履修していて社会科の教授法に関心があるため、「社会科教授法の変遷」というテーマで研究しています。

文献を読む際に注意するのは、「批判的に読む」ということです。批判的とは、根拠は十分か、先行研究との相違はどこか、解釈に偏見はないかなど、「本当か?」という視点を持つことです。これを意識しながら文献を読み込み、私は、教授法の変化は教員養成過程の影響が強いと考えていましたが、戦前の教員は師範学校出身者よりも普通の中等学校出身者の割合のほうが多かったことに気づきました。そして、教授法の変化には、教科書の検定制度や採択制度など、教科書の果たす役割が大きいと考えるようになりました。

ゼミでは、ゼミ生の報告に対し、批判は妥当なのか、疑問点はないのかを議論し、新たな課題を見つけていきます。他にもメディアや宗教、化粧など多様なテーマについてゼミ生は主体的に研究を行い、自らの答えを探しています。



橘ゼミの様子

## 下関市立大学 News &amp; Topics

## PBLに参加して

経済学科3年 大西 里実  
(高松第一高等学校出身)

私が参加したプログラムは、「下関を観光面からシンガポールに売り出す」という課題のもと、5月半ばから9月の報告会までの4ヶ月間に渡る研究でした。課題をいただいた企業の方への報告会で、旅行プランとして商品化するだけの価値があることを認めてもらい、更に2ヶ月間研究を続け、下関の観光に影響のある市役所や銀行の方々への報告会も行いました。

最も苦戦したのは、本当に商品価値のある旅行プランを提示するために、調べた膨大な情報の中からどれを選択してどのように提示するかを見出す点です。企画を進める中でも、この点についてグループ内で何度も衝突しました。そこで一つの目標を達成するためには、今、何が最適かを見極めることの必要性を学びました。グループの皆がいつも同じ意見であるとは限りません。しかし私たち全員が「プロを納得させることのできるプレゼン」を目指していたので、最終的に一つにまとめることができました。意見の衝突は、どのグループに所属しても生じるものです。その際には、原点となった目標を確認することをこれからも心がけたいと思います。



※PBL：Project Based Learning（課題解決型学習）

## 英語でグローバル経済： 2015年度秋学期共同自主研究の報告

公共マネジメント学科2年 北浦 ゆり子  
(鳥取県立鳥取東高等学校出身)

2015年度共同自主研究において、私たちは、グローバル経済を英語で学び、英語で発表する課題に取り組みました。具体的には、TPP交渉に関する議論についてNew York TimesやForeign Affairs, The Economistなどの海外の新聞・経済雑誌を読み、米国内でのTPPに関する議論をまとめました。その中でも、反対意見を中心とした議論を産業別に調べ、米国のTPPに対する姿勢を分析しました。

今回の共同自主研究では、これまで日本からの視点で学んできたTPPについて、米国からの視点で分析しました。一側面のみから問題を考えるのではなく、違う観点からアプローチすると、問題の新たな姿が見えてくるのがわかりました。とくに、アメリカ側の反対意見や戦略についての理解を深めたことで、TPP合意の本質を今一度考え、日本の合意は正しかったのか検討する必要があると考えました。

また、今回は外国の英語文献を読むだけでなく、中間発表会のプレゼンテーションも全て英語で行いました。英語を用いた内容は普通の講義よりも難しく、他のメンバーは上級生ばかりということもあり、壁にぶつかることもありましたが、今回の経験をを通して国際経済への関心が高まっただけでなく、今の自分に不足していることや、今後鍛えていくべきことが明確になりました。今回の経験を、3年生から始まるゼミ活動など自身の学びに活かしていきたいと思っています。

最後に、ご指導いただきました西田光一先生、山川俊和先生に改めて感謝申し上げます。



## 「特別開放授業」を開講しました

11月12日(木)、道下美里さん(2016年リオデジャネイロ・パラリンピック女子視覚障害者マラソン推薦内定選手)を招いて、特別開放授業(健康)を開講しました。

本学では、障害者差別解消法が平成28年4月1日に施行されることから、障害を持つ学生の受け入れのための対応を検討しています。道下さんはこの日、下関北消防署の一日署長を務められており、障害者としてマラソン競技にどう取り組んでいるかに加え、火災現場での視覚障害者の避難誘導の在り方等も紹介していただきました。

授業に参加した学生は、「障害者の立場に立って防災に関して考えることは初めてで、ためになった」と話していました。



## 下関5大学連携「赤間関」公開講座開講

下関市内の5大学が連携して取り組む「赤間関(あかまがせき)」公開講座が12月12日(土)、東亜大学で開講されました。「赤間関」公開講座は、下関市内の5大学が相互に連携・協力し、知的資源を市民の方々に提供することで、地域社会における教育・文化の向上に資することを目的としています。

今回は、東亜大学の儀永和貴准教授が「下関と明治維新～豪商白石正一郎と志士たちの交友～」をテーマに、約100名の参加者に下関の明治維新を白石と志士たちの交友関係を通して様々な角度から解説されました。次回の「赤間関」公開講座は、来年度本学で開講されます。



## 自著を語る

連載企画

『暮らしの視点からの地方再生  
—地域と生活の社会学—』を上梓して

講師 松本 貴文

昨年の4月に、編者の1人として、『暮らしの視点からの地方再生—地域と生活の社会学—』を九州大学出版会より上梓しました(監修：徳野貞雄、編集：牧野厚史・松本貴文)。本書では、昨今の地方消滅論と地方創生論の隆盛のなかで看過されているように思われる、「地方(あるいは地域)の暮らし」に着目することで、それらとは一線を画す地域分析や地域再生の方法を提示しようと試みています。

そもそも本書は、私が11年間在籍した熊本大学地域社会学研究室で長年教鞭をとってこられた徳野貞雄先生の退職を記念し、研究室OBとその共同研究者たちの成果を総括する意図で企画したものです。最終的には、九州地方をフィールドとする研究者を中心に、14名の論者から多彩な論文をご寄稿いただくことができました(本学の加来和典先生からもご寄稿いただきました)。結果として、総合性と切り口の多様性という点で類書にはない特徴を備えた本に仕上がったのではないかと、自負しています。地域に関心を持たれている多くの方々が、本書を手にとってくださることを願っています。





## ■平成27年度 サークル秋季大会成績

サークル名	イベント名	所属・出場種目	結果	個人名
男子バスケットボール部	山口県学生バスケットボール秋期大会 北九州・下関地区大学体育大会（バスケットボール競技）	2部	優勝	
			優勝	
女子バスケットボール部	山口県学生バスケットボール秋期大会 北九州・下関地区大学体育大会（バスケットボール競技）	1部	3位	
			3位	
男子バレーボール部	中国大学バレーボールリーグ戦秋期大会 北九州・下関地区大学体育大会（バレーボール競技）	チャレンジリーグ	準優勝	
			準優勝	
女子バレーボール部	山口県大学高専バレーボール戦秋期大会		2位	
			2位	
バドミントン部	北九州・下関地区大学体育大会（バドミントン競技）	女子ダブルス	1位	櫻山 希実子・石田 晴
		女子シングルス	2位	櫻山 希実子
			3位	石田 晴
		男子団体	2位	
卓球部	下関市卓球選手権大会	10代の部	優勝	水田 敦希
			準優勝	石谷 卓郎
硬式テニス部	北九州・下関地区大学体育大会（硬式テニス競技）	20代の部	優勝	橘 大輔
		女子団体	優勝	
		男子シングルス	優勝	藤田 悠介
		男子ダブルス	優勝	藤田 悠介・他大学学生
		女子シングルス	準優勝	森桶 愛叶
		女子ダブルス	優勝	森桶 愛叶・他大学学生
ソフトテニス部	山口県学生ソフトテニス選手権大会	女子団体	2位	
		女子個人	3位	橋本 桃子・加藤 由華
水泳部	中国四国学生水泳記録会	女子個人・自由形・200M	5位	植木 奈那子
		女子個人・自由形・400M	2位	植木 奈那子
柔道部	北九州・下関地区大学体育大会（柔道競技）	団体	3位	
剣道部	北九州・下関地区大学体育大会（剣道競技）	男子団体	ベスト8	松島 健太
		女子個人	ベスト8	織邊 麻友美
空手道部	北九州・下関地区大学体育大会（空手道競技）	男子組手個人	2位	村瀬 智大
		男子形個人	2位	村瀬 智大
		女子形個人	2位	疋田 梨緒
		個人	優勝	岡本 秋星
弓道部	山口放送旗西日本弓道大会	女子白緑帯組演武	3位	澤 未涼・田中 真奈美
少林寺拳法部	少林寺拳法中四国学生新人大会	男女有段組演武	3位	河内 良太・森 紫央里
		男子有段単独演武	1位	北野 仁
		男子立合評価法	3位	柳木 隆宏

## ■学生団体新役員紹介

### ●第12代学友会執行部

- ・会長 嶋本 真奈（経済学科3年）
- ・副会長 平野 航一期（公共マネジメント学科3年）
- ・会計局長 中道 実希（国際商学科1年）



学友会会長

### ●第41代体育会

- ・会長 坂手 達弥（経済学科3年）
- ・副会長 矢嶋 収（経済学科2年）
- ・書記長 柳木 隆宏（国際商学科3年）



体育会会長

### ●第32代文化会

- ・会長 福田 大介（公共マネジメント学科2年）
- ・副会長 矢野 誠（経済学科3年）
- ・書記 岩崎 美和（経済学科1年）



文化会会長

### ●第55回大学祭実行委員会

- ・委員長 篠原 大空（経済学科2年）
- ・副委員長 花本 葉菜美（経済学科2年）
- ・企画開発局長 鹿毛 萌（経済学科2年）
- ・委員長



委員長

## ■平成28年度入試状況

本学において、11月21日(土)に2016年度推薦入学、特別選抜(帰国子女・社会人)、第3年次編入学を、12月19日(土)に外国人留学生選抜を実施しました。

	入試区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率	
経済学科	推薦入学	全国	27	92	92	28	3.3
		地域	A	29	42	42	30
		B					
	帰国子女	2	1	1	0	-	
	社会人	2	0	-	-	-	
	留学生	若干名	13	13	4	3.3	
	編入学	8	30	26	8	3.3	
国際商学科	推薦入学	全国	27	50	50	30	1.7
		地域	A	29	31	31	31
		B					
	帰国子女	2	0	-	-	-	
	社会人	2	0	-	-	-	
	留学生	若干名	18	17	9	1.9	
	編入学	8	18	16	8	2.0	
公共マネジメント学科	推薦入学	全国	7	28	28	7	4.0
		地域	A	8	8	8	8
		B					
	帰国子女	1	0	-	-	-	
	社会人	1	0	-	-	-	
	留学生	若干名	2	1	1	1.0	
	編入学	4	13	12	5	2.4	

\*推薦入学の合格者数には第2志望学科合格者を含みます。

## 全国大会4年連続出場!

### 少林寺拳法部 競技部門：団体演武

## 2015年少林寺拳法全国大会 in KYOTO

★ 出場選手 ★

北野 仁 (国際商学科3年)  
吉田 大紘 (国際商学科3年)  
河内 良太 (国際商学科2年)  
山本 大貴 (経済学科3年)  
甲斐 周平 (経済学科3年)  
川原 功介 (国際商学科2年)



## ■行事記録(平成27年11月～平成28年2月)

- 11月 5日 日本語スピーチコンテスト
- 12日 インターンシップ報告会
- 19日 中国語スピーチコンテスト
- 21日 推薦・特別選抜(帰国子女等・社会人)・編入学
- 22日 第1回市大キャリアスタディ
- 12月 3日 学内合同業界研究会(～5日、7日、8日)
- 10日 共同自主研究発表会
- 16日 コリアンススピーチコンテスト
- 19日 外国人留学生選抜
- 26日 冬季休業(～1月3日)
- 29日 学内一斉休業(～1月3日)
- 平成28年
- 1月 4日 授業再開
- 7日 第3回就職ガイダンス
- 9日 食・見・交・群～餃子パーティ～
- 11日 下関市留学生国際親善大使任命書交付式
- 13日 第4回日本にいながら世界を知らう!
- 15日 大学入試センター試験準備(全学休講)
- 16日 大学入試センター試験(～17日)
- 19日 第2回交通安全講習会
- 22日 留学生送別会
- 26日 卒業論文提出日(～27日)
- 28日 秋学期定期試験(～2月4日)
- 29日 修士論文提出日
- 2月 4日 プレゼンテーションテスト
- 6日 就活直前合宿(～7日)・第2回市大キャリアスタディ
- 25日 一般選抜(前期日程)

退任挨拶

退職教員から

教授 木村 健二



ここ20年来、大学を去る人に「良いときにやめられますね」と言い続けてきましたが、まさか私の番になっても言われるとは予測しませんでした。それだけ大学の役割が大きく変化しているのだと思います。しかしそうは言っても、大学に長年居たものとして、何かを残して置きたいと思い、少し述べてみます。高校生向けの小文で、文系大学は何か物を作り出す所ではないが、ものごとの考え方を作り出すところだと書いたことがあります。やはりこの点を抜きにしては大学とは言えないでしょう。論文を書く技術、議論をする技術、教える技術というのも重要ですが、基本的知識のうえにものごとを見据え批判し、そして自分の考えを作り出すのに、標準的なマニュアル化されたものがあるとは思えません。そこにこそ、それぞれ独自の形で思考回路を作り出してきた大学教員の使命があるのではないのでしょうか？ ミネルヴァの梟は最近さぼっていて一向に飛び立つ気配がありませんが、グローバリズムの黄昏にそろそろ飛び立ってもよいのではないのでしょうか。



是非主義を! 言い合える関係づくりを弛まずに!

教授 道盛 誠一

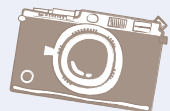


二十年の勤務を振り返り見て、いくつか。先駆的な研究を手がけてきたとは、自負するところです。在職中に「立てて立つ」本に仕上げるつもりでしたが、悔いること頻りです。ところで、「学生は二流、教師は三流」といわれていたことがあります。それでいて「うちの学生には難しいこと言ってもダメ」といって憚らぬ風潮がありました。ヘンな大学だと思いつつも、授業で手抜きをしないことを自らに課し続けて今日に至ります。ただ、受け止めてくれる学生の割合は変わらないものの、了しない者が増えています。着任時の第一印象は、「ぬるま湯につかっている」でした。設置団体に対する高い交渉力の発揮と主導できる人材の獲得が急務で、これは今も変わっていません。自分なりに努めてきたつもりです。採用人事の透明性確保にも努めました。本学は完全公募主義だと胸を張れるはずですが、それにしても、地域の多様な人びとから「大学が見えない」と言われたことは衝撃でした。地域共創センターの開設は、大学の顔をはっきりと見せるためでした。下田名誉教授の最終講義が「マイノリティとしての自分」を主題にされていたことを思い出しています。彼が貫いたのは、大学人としての矜持たるべき是非主義でした。私も貫いてきたつもりですが、全学的には劣化してきたように思えてなりません。この主義を職員各位がよくよく志され、言い合える関係をステークホルダーとの間にしっかり築いてください。新学長のもとで「市大第二の50年」に確かな定礎を築かれるよう願ってやみません。

退任教員紹介

平成27年4月に、北京大学からの派遣教員として商金林氏が、青島大学からの派遣教員として王瑤氏が本学に着任し、平成28年3月に任期を終え帰国されます。両氏には、1年にわたって本学の中国語教育にご尽力いただきました。お二人の今後のますますのご活躍をお祈り申し上げます。

創立60周年記念事業



下関市立大学は、1956年4月に、前身である下関商業短期大学として開学し、1962年に四年制大学となりました。平成28年は開学から60年を迎える節目の年となります。このことを記念し、平成28年6月4日(土)に記念式典を開催いたします。また、記念事業の一環として、2013年から取り組んできた研究の成果報告や記念誌の発行も予定しています。記念誌には、歴代の学長や名誉教授、OB・OGの方などからメッセージをいただく予定です。※詳細は本学HPにて随時お知らせいたします。



1956

2016